

交渉情報	NO.26	日本郵便(株)信越支社
JP労組信越地方本部	2021年9月1日	添付資料:6枚

新しいかんぽ営業体制の構築に伴う活動拠点の集約に関する
 具体的要員措置計画について

【関連交渉情報】中央交渉情報 日本郵便第21号 (2020.7.30)

日本郵便(株)信越支社は、本日(9月1日)「新しいかんぽ営業体制の構築に伴う活動拠点の集約に関する具体的要員措置計画」について地方本部に説明してきました。

本件は、関連交渉情報のとおり「労使関係に関する協約」第78条第3項に基づき、実施4ヶ月前に中央本部へ「具体的実施計画」の提示があったものです。

概要は、活動拠点の集約化を行うことにより、マネジメントの効率化や専門性を高めるための知識・ノウハウの共有が促進され、加えて顧客担当制を導入することにより、お客さまに質の高いきめ細やかなアフターフォローを行う体制を実施する。というものであり、今般、具体的要員措置計画等に関する説明が、支社から正式に行われました。詳細は支社資料を参照願います。

提示にあたり信越支社宮澤経営管理副本部長より、「新しいかんぽ営業体制の構築に向けたコンサルタントの活動拠点の集約に関する具体的実施計画については、本社において7月30日(金)に提示し、JP労組中央本部から8月18日(水)に意見表明があり、交渉の結果、8月30日(月)大綱整理となった。そして本日、JP労組信越地方本部に対し、本件に関する具体的要員措置計画について正式提示をする運びとなった。これまで、新しいかんぽ営業体制の構築については、2021年2月の再編の目的や概要の説明を始めに、本件に関する社員周知を3回行ってきたところ。本件の重要施策である活動拠点の集約を行うことは、マネジメントの高度化や専門性を高めるための知識・ノウハウの共有、促進に加え、お客さまに対し質の高いきめ細やかなアフターフォローを行うために必要不可欠である。今回の新しい体制の構築により、お客さまにご満足いただけるサービスを提供し、グループ全体の企業価値向上につなげるとともに、社員の皆さまが明るい未来を描き、誇りをもって働ける会社となるよう、精一杯取り組みたい。いずれにしても円滑な実施のためには、組合員の皆さまの協力が必要不可欠。地方段階における交渉をはじめ、職場段階での労使意思疎通を通じて、労使一体となって一致協力し、取り組んでいきたい。ご協力をよろしく願いたい。」との決意が示されました。

地方本部を代表して関川書記長より「今年の2月に「新しいかんぽ営業体制の構築」が示されて以降、3回の社員周知が行われている。信越地本はこの間、支社と非公式協議を積み重ね、お互いのチャネルから本施策の理解・浸透、社員の不安払しょくに向け、取り組みを進めてきた。しかしながら、現場からは「理解・浸透が進んでいない」「未だ決まっていないことが多く不安が大きい」などの厳しい声もあがっており、本施策を進めていくにあたり、今後も丁寧に現場と向き合っていく必要があると認識している。そのような状況の中、今回、活動拠点の集約に関する具体的要員措置計画が提示された。本施策により、金融コンサルタントの活動エリアや窓口社員の業務負担など、組合員はもとより、お客さまへ大きな影響を与えることが想定されることから、現場管理者へその趣旨をしっかりと理解させ、現場社員が希望をもって仕事に向き合えるよう、あらためて支社からの対応を要請する。また、具体的要員配置については、労使間のルールに基づき要員協議の扱いとなるが、地域事情や社員の個別事情を最大限考慮したものとなるよう要請する。」との考え方を示しました。

記

1. 被集約局および発生予想過欠員等
支社資料②参照

2. 実施予定日
2022年1月中旬～2022年4月1日(金)

3. 具体的要員措置方法

(1) 正社員

実施日において、被集約局所属コンサルタントを、集約先局へ配置転換する。

(2) 配置転換に伴う通勤状況

正社員については、配置転換一時金算出等のため、別途、異動に伴う通勤手段の確認を行う。

(3) 配転一時金の支給

本件実施に伴い、配置転換となる正社員に対して、支社資料③のとおり配転一時金を支給する。

4. 要員協議の扱い

本件に伴う要員協議の扱いについては、本部・本社間で整理された内容で取り扱うこととし、詳細については、9月1日開催の緊急支部書記長会議で周知することとします。

5. その他

地方本部は、提示された具体的要員措置計画に対し9月16日(木)に意見表明の提出を行う予定です。よって、支部においては改めて職場意見を集約の上、9月7日(火)までに地方本部代表アドレスに報告願います。

なお、中央本部は8月26日(木)、「新しいかんぽ営業体制の構築」に関する意見表明(その4)」を提出し、交渉を継続しています。

以 上